

掉
重
倫理
RENAULT

DRIVE THE CHANGE



目次

ページ

前文 2

1 従業員**の保護** 3

2 資産**の保護** 4

3 お客様**の保護** 5

4 株主**の保護** 6

5 環境全体における市民**的責任感の奨励** 7

実践方法 9

前文

企業の繁栄と発展は、その企業が社会的環境全体から信用されているかどうかということに大きく左右されるものであり、とくに従業員、お客様、株主、ビジネスパートナー、サプライヤー達から信頼されることが大切です。

ルノー・グループは社会全体における信頼の確立と発展を約束し、倫理憲章によってこのコミットメントを断言します。ルノー・グループの倫理憲章は、経営陣及び従業員が守っている根本的な価値観を各人が日常の行動において実践できるようになることを目的としています。ルノー・グループの根本的な価値感とは従業員の保護、資産の維持、お客様の保護、市民としての責任感、製品及びサービス価値の発展を奨励することです。

これらの価値観を尊重することがルノー・グループのポジティブなイメージとパフォーマンスの向上につながります。

この憲章の活用の仕方

この憲章はルノー・グループの全ての価値観と措置を完璧に網羅しているリストではありません。しかし、この憲章は、与えられた状況において各人がそれぞれの見識と責任感に基づいて正しい決断をとるために役立つものです。また、正しい決断とは、ルノーが存在するそれぞれの国の現行の法律と規則、及び社会、共同生活、環境という分野においてルノーが同意したコミットメントを尊重するものでなくてはなりません¹。

¹ルノー・グループが同意した様々なコミットメント、とくに国連グローバル・コンパクト及びルノーの根本的社会的権利宣言、またはこの宣言を後に代替することが決定された全ての文書も含まれます。

1

従業員の保護

人々を尊重するということはルノーの根本的な価値観です。各人は、ヒエラルキー及びそれぞれの役割という両方の見地において、職場で質の高い人間関係を築くように努力し企業の団結に貢献しましょう。質の高い人間関係とは率直なコミュニケーションと忠誠心、皆で尊重しようという心がけから成り立つものです。

以上の観点をふまえ、ルノー・グループは次のようにコミットメントします。

- 仕事上の関係においていかなる差別も行わない。特に下記の事柄に留意する。

- 性別、年齢、人種、社会階級、文化、国籍、組合活動、性的指向、障害、政治的または宗教的意見によるいかなる差別も行わない。

- 従業員の尊厳と私生活を尊重し、情実を排除してそれぞれの長所に応じて従業員を雇用し奨励する。

- 従業員の健康と安全を守る労働条件を保証するために必要な対策を行う。

- 従業員の健康と安全を守る労働条件を保証するために必要な対策を行う。

- 人々の安全と保護を保証するために必要な対策を行う。

- 従業員の個人情報の保護に関する法律と規定を守る。

2

資産の保護

財産の保護²

ルノー・グループが所有する財産をそのまま全て維持することはグループの繁栄を保証するものであり、従業員全体がその利益を享受します。

従業員にはグループの資産を破損、盗難または横領から守る義務があり、個人的目的で利用しないことは特に重要です

機密保護

無形財産を保護するための手段の1つは機密保持を適用し守ることです。ルノー・グループの従業員はグループが所有する情報を所持することになる可能性があります、その情報を漏洩または公開することによってグループの利益が損なわれる危険があるため、情報の機密性守らなくてはなりません。

これらの情報は、個人、製品、研究、技術的プロジェクト、産業データ、営業及び財務計画、社会的データ、知的財産及びノウハウの所有権に関わる全ての要項に関連する可能性があります。

各人は、これらの情報が企業外部ばかりでなく、情報を所持する許可のない従業員、とくに実習生に伝達されないよう注意しましょう。臨時従業員、研修生、グループ内で働く契約を結んだ派遣会社の社員にもこれらの情報を伝達してはいけません。

グループのイメージの保護と向上

グループの企業としてのイメージの質と製品及びサービスの評判はグループが存続するための重要な条件です。グループの従業員はその重要性を認識してグループのポジティブなイメージの向上に貢献し、一般公開されているソーシャルメディア利用の際も含め、グループに関するいかなる性質の誹謗行為、ボイコット行為またはボイコット支援、ネガティブな情報伝達、組織的キャンペーンまたはグループに不利なその他全ての行為を自制しなくてはなりません。また、外部への広報は許可されている者だけが行います。広報内容と行為は全て上層部によって事前の許可を受けるべき対象となり、上層部はその広報内容と行為について管轄部署に知らせなくてはなりません。

²ここでいう財産とは、建築物、施設、器機、乗り物、用具、コンピューター、情報システム、事務用品、小物などの有形財産だけでなく、グループが所有している知的財産、ノウハウ、慎重に取り扱わなくてはならない情報などの無形財産も意味します。

3

お客様の保護

ルノー・グループの企業活動と製品に対するお客様の信頼を得ることは最も重要な目的のひとつです。お客様の信頼を獲得し維持するためにはお客様の権利を尊重し、その利益の保護すること、そして実現可能で守ることができる約束しか行わないことが特に大切です。

以上の観点をふまえ、ルノー・グループと従業員は次のようにコミットメントします。

以上の観点をふまえ、ルノー・グループと従業員は次のようにコミットメントします。

- 製品の安全性と品質を保証することを目的とした規則、プロセス、技術的要求基準の全般を厳守する。
- 提供している製品とサービスの特性に関する情報は確認済みの正確な情報だけを お客様と消費者に伝達する。
- お客様やプロスペクトの個人情報に関する法律と規定を厳守する。

4 株主の保護

正確な情報

他の全ての伝達情報と同様に、企業内部及び外部において、会計、財務、経営などに関わる開示情報が完全で正確なものであることはビジネスパートナーからの信頼を得るための基盤であるだけでなく、ルノー・グループが成長するために資金調達を呼びかける投資家たちから信頼されるためにも重要です。

従業員はそれぞれ関わりのある情報が完全で正確であるかどうかということに責任を感じなくてはなりません。同様に、取締役会、監査委員会とリスク及び倫理委員会(CARE)に補佐されながら、ルノー・グループが発布したこの分野における原則と規定が守られているかどうか年に一度確認します。

インサイダー取引の予防

優先的な情報を常時または臨時的に保有するグループの全ての経営陣、会社受任者、従業員はそれぞれの責務のレベルにかかわらず、保有しているルノー、日産またはルノー・グループの他の全ての企業の株式に関わる情報が一般公開される前にこれらの株式を対象とする市場取引を直接あるいは中間者を通して行うことを自制します。

ルノー・グループに関する優先的な情報や、その役職または職務において情報を得たグループの従業員である第三者に関わる優先的な情報を個人的目的で利用することは倫理に反するだけでなくインサイダー取引とみなされる可能性があります。

5

環境全体における市民的責任感励 の奨

政治的及び宗教的活動

政治的及び宗教的活動を行う従業員はルノー・グループ外部で行います。これらの活動は、職務時間外にあくまで個人として行うものであり、全ての勧誘活動を自制します。いかなる場合においても、政治的及び宗教的活動がルノー・グループへの所属より優先されることはありません。また、ルノー・グループは政党や宗教的特性を持つ団体への資金供給は行いません。

第三者との関係

経済的パートナー

ルノー・グループは経済的パートナー(営業網のメンバー、財政的パートナー、サプライヤーなど)と忠実で公平な関係を築くことを願っています。

サプライヤー

企業の購入政策規定に基づき、全ての取引は競争に課され、注文、契約、適時性および競争の進化における適合性に関する定期的検査の対象となります。サプライヤーは、客観的基準によって測られたパフォーマンスに基づいてのみ選ばれます。また、サプライヤーを選ぶ基準としてサプライヤーが自主的に課す倫理の方針も考慮に入れられます。ルノー・グループは、とくにルノー・グループが定めた原則に即している 根本的な社会的権利と職務的危険の予防政策をサプライヤーが尊重しているかどうかを確認し、サプライヤーは自社のサプライヤーにそれらの原則を守らせることを約束しなくてはなりません

営業外パートナー

広報、スポンサー、その他全ての営業外のパートナーシップにおいて、いかなる場合も情実にとらわれてはいけません。

仲介者の介入

それぞれの能力を活かしてルノー・グループに貢献する代理業者または代理業者ではないエージェント、交渉者、コンサルタントに仕事を依頼することはルノー・グループの経営管理を成功するために必要な要素のひとつです。

これらの仲介者たちは厳選され、その任務はルノー・グループの経営管理に貢献するという枠組みにおいて実際に遂行される場合においてのみ正当であるとみなされます。その任務はもちろん法律にかなったものでなくてはなりません。

仲介者への報酬は明確で、契約に定められた任務内容に相当したものでなくてはなりません。

利益相反行為 - グループ外企業での経営管理参加

ルノー・グループの従業員は私的利益、経営管理に参加している個人的利益または法人的利益においてルノー・グループの利益と相反する状況に陥る可能性があります。そのような場合には、利益相反の原因となりうる事柄を上層部に良心的に伝えなくてはなりません。





贈収賄と闇リベート

ルノー・グループの従業員は間接的にも直接的にも賄賂またはその他のいかなる優遇措置(贈り物、招待など)を要求または受け入れてはいけません。

ルノー・グループは賄賂またはその他のいかなる優遇措置を贈与、贈与の要求に応じてはいけません。

ルノー・グループは契約先の公務員、従業員、家族に贈賄するために契約先の従業員に契約実施の支払いとして受けた金額の一部を払い戻したり、その他の優遇行為(下請け契約、注文票など)を行ってはいけません。

報酬を受け取る仕事

とくに、ルノー・グループ外の法人・団体・個人のために働いて報酬を受け取る仕事は、ルノー・グループ外の利益と相反する場合には受け入れてはいけません。問題を避けるため、ルノー・グループでフルタイム勤務している全ての従業員は、グループ外で職業活動を行う前にあらかじめ上層部の承諾を得ましょう。

社会福祉・労働、 個人の社会生活、

環境における企業の責任

社会における企業の責任は持続可能な発展のコンセプトの一環でもあります。ルノー・グループの従業員は、グループに関わる全ての人々(従業員、お客様、株主、サプライヤーなど)のためになるよう、社会、環境、経済問題についての考察を活動に取り入れることを約束します。

この観点におけるルノーの自主的活動のなかで、ルノーが最も優先している4つの軸は、教育、多様性、交通安全、持続可能な交通手段です。

環境における企業の責任

ルノー・グループの従業員全員が広意義での環境に対する悪影響を減少するよう努力することは企業の持続可能な発展を保証するものです。

環境保護はルノーにとって根本的な理念のひとつであり、従業員各人が全ての業務・作業過程において実践できることです。

実践方法

役に立つ連絡先

本憲章で定義された原則的理念の適用に関する質問がある場合、従業員は上層部に明確な説明を求めることができます。上層部の答えが十分に明確ではなく、満足できない場合は倫理担当局に問い合わせましょう。

また 財務、会計、金融分野、贈収賄防止、競争に反する行為に関し、誠意ある従業員が企業の活動に深刻な悪影響を及ぼしたり、これらの分野で重大な責任を持つ可能性がある行為について疑いまたは疑惑がある場合には、通常のルート(上層部、人事課、会計監査士など)を補足するものとして倫理担当局のウェブサイトに職務上の警戒警報を発する措置が設けられています



分かち合う倫理



分かち合う倫理の実践

本憲章はルノーと子会社の従業員全員及び全ての代理・依頼業者に向けられています。

本憲章とPQSR (倫理実)、職務によって異なる職業倫理の原則は各人が職務で出会う可能性があるジレンマを解決するために役立つ措置を成しているものです。これらの措置は進化していくものであり、それぞれの問題に合わせて関心を喚起する機会によって補足されていきます。

本憲章はルノー・グループが活動する各国の言語で書かれています。フランスで準拠となる文書はフランス語版、その他の国で準拠となる文書は英語版です。

フランス語で「問いかけ無しでは答え無し」

(www.renault.com)

Renault / 13-15, quai Le Gallo - 92513 Boulogne-Billancourt Cedex - France / Tél. : 33 (0)1 76 84 04 04

Designed & published by  Labrador +33 (0)1 53 06 30 80